

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第3号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第3号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

この情報はホームページ<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00323270/index.html>にも随時公開しています。

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R2 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R2 (hr)	平年比 (%)
5月	1	17.4	20.1	2.7	23.5	25.8	2.3	11.8	15.9	4.1	31.5	49.5	157	29.6	31.8	107
	2	18.1	19.5	1.4	24.2	25.1	0.9	12.6	14.5	1.9	33.3	13.0	39	29.7	37.8	127
	3	18.5			24.7			13.0			33.4			30.0		
	4	18.9			25.1			13.4			28.9			30.2		
	5	19.6			25.9			14.1			23.1			31.0		
	6	20.5			26.8			15.1			26.8			37.6		

5月2半月の気温は、平年に比べて1 ほど高く、少雨多照傾向となった。

福岡管区気象台の週間天気予報（5月19日発表）（予報期間 5月20日から5月26日まで）

向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。最高気温は、期間のはじめは平年より低いですが、その後は平年並か平年より高い見込みです。最低気温は、平年並か平年より低い日が多いですが、期間の終わりは平年より高い所もあるでしょう。

2. 情報田生育概況（調査日：5月20日）

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本 / m ²	主 稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ	本 年 値	36.4	358	9.6	42.6	・草丈は平年に比べやや低く、 茎数はかなり少ない。 （1株あたり茎数17~19本） ・主稈出葉数は平年並み。 ・葉色はやや淡い。 ・現在7号分げつが発生し、 株の開張がみられる。
	平 年 値	38.3	444	9.6	44.0	
	平年比（差）	9.5	81	0.0	-1.4	

平年値は、H21~31年度の平均値

耕種概要は稲作情報NO1参照。

（管内の生育状況）

現在、分げつ発生盛期である。現在、8葉身の葉先が先週の強風により葉先の裂傷が確認される（用水が入っていない圃場での発生が多く確認される）

3. 今後の管理（七夕コシヒカリ）

（1）水管理

現在、間断灌水による水管理の徹底。

5月下旬から有効茎（1株あたり20本程度の分けつ）が確保された圃場では、中干しに入
りましょう。ただし、本年は移植後の低温の影響を受けて、初期分けつの確保が緩やかであ
る。そのため、生育量が小さい圃場が散見されるので、中干し程度を強め（土壌表面が白乾
し亀裂が深い）にせず、落水状態を長めにとるなどの対応とする。

中干しの開始時期は、移植時期によって異なるが、有効茎（1株あたり20本程度の分けつ）が確保でき、株が開張しておおむね草丈が35～50cmを目途に実施する。

なお、中干し程度は、土壌表面に軽い亀裂が入り、足跡がわずかにつく程度とする。

現在、常時湛水する必要はありません。



中干し程度
土壌表面に軽い亀裂がはいる



間断灌水

水尻をとめて自然落水で田面の水がなくなり足跡の底に水がたまる状態を見られたら、入水する

（2）その他

一部の地区でコウキヤガラ等の難防除雑草が多発しているところがある。

薬剤の使用成分数を確認し、余裕がある場合には、中干しに併せて中後期除草剤による防除を行う。

- ・イネ科雑草が多い場合 クリンチャーEW（1成分）
- ・広葉雑草が多い場合 バサグラン（1成分）
- ・塊茎繁殖する雑草（コウキヤガラ、クログワイ等）が多い場合 ワイドアタックSC（1成分）



コウキヤガラの発生圃場

【参考】

(1) 中干しの効果

- | | |
|---------------|------------------|
| 1) 無効分けつの発生防止 | 1 茎の充実、茎を太く揃える |
| 2) 下位節間の伸長防止 | 稈長を長くしない、倒伏防止 |
| 3) 窒素の制限 | 過剰繁茂防止、草型を整える |
| 4) 有害物質の除去 | 根の活力低下防止 |
| 5) 土壌に酸素供給 | 根の健全化 |
| 6) 土壌透水性増加 | 根の量の増加 |
| 7) 株支持力の増加 | 倒伏防止 |
| 8) 圃場管理が容易 | 田圃に入っても歩いてもきつくない |

(2) 中干しの実施時期目安

総葉数の7割～8割の葉が出た時の間、10葉期頃を中心

止葉までの葉数の69%～77%の葉が出た時期が最高の時期。

ほぼ有効分けつ決定期(株当り小さい分けつまで20本)

～穂首分化期(穂の基が茎の中で出来る時)

(3) 中干しの期間と程度(強弱)は?

中干し期間は5～7日天候や土壌の種類、漏水の程度などによって変わってくる。

圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらいです。

つまり「歩いて足跡が付くが抵抗なく歩ける硬さ」が理想である。

しかし生育量や葉色によっても加減が必要である。

手のひらが縦にはいるようなヒビ(強い中干し)は、強い断根を伴い稲にとってダメージが大きくなる。

「七夕コシヒカリ」は特別栽培農産物の認証を受けるためにも、農薬成分回数9成分を超えないように注意しましょう！

七夕コシヒカリ栽培暦に載っていない薬剤を

使用する場合は、必ず指導機関に相談して行うこと！！